

こっこめ通信 07 2017

「いないと思っではダメ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

八丈小島で産まれた2羽のクロアシアホウドリは6月上旬に姿が見えなくなったそうです。大きくなって、また八丈小島に戻ってきてくれることを願います。そして6ヶ月後には新しい繁殖シーズンが始まります。今シーズン以上の数が上陸し、たくさんの卵が産まれ、みんな巣立ってくれるといいですね。

さて、今年も7月20日から8月31日の夏休み期間、植物公園内で「光るキノコ無料観察会」を開催します。なんと今年は8月11日の花火大会の日だけがお休み！です。長期間なのでスタッフの体力が心配です…。

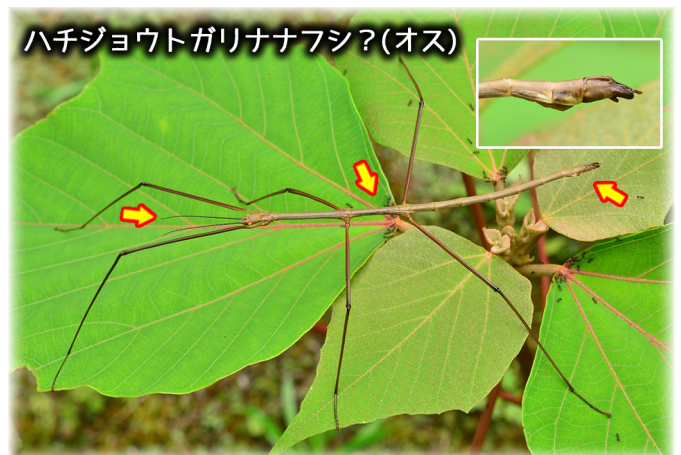
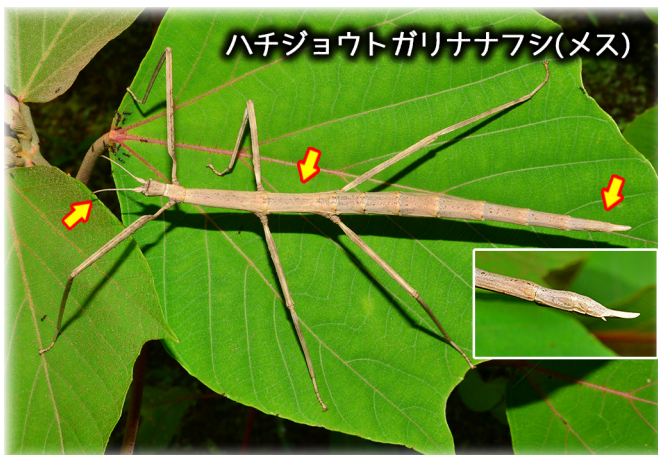
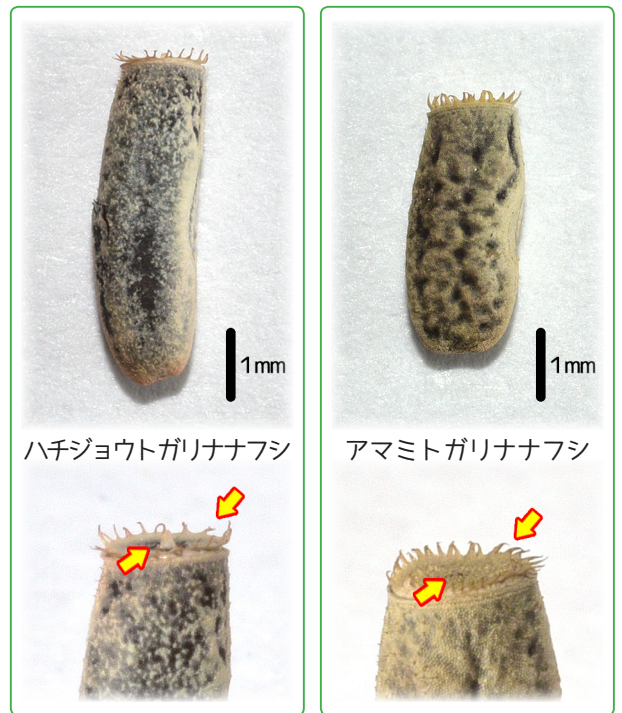
今回は「トガリナナフシの謎」「八丈島のタマムシを探せ！」のお話です。

トガリナナフシの謎

先日、ビジターセンターの前でお腹の大きなトガリナナフシを見つけたので飼育し卵を確認しました。すると、産まれてきたのは、ハチジョウトガリナナフシ（以下ハチジョウ）ではなく、アマミトガリナナフシ（以下アマミ）の卵でした。捕まえてきたトガリナナフシは、ハチジョウではなく、アマミだったのです。島のすべてのトガリナナフシはハチジョウであると思っていましたが、アマミもいたことになります。

ハチジョウにも卵を産ませ比べてみました。ハチジョウの卵は細長く、葉の裏側などに付着するタイプ。アマミの卵は少し短く表面に凹凸があり、バラバラと落下するタイプ。卵上部の蓋の形にも違いがあり、ハチジョウには中央に突起があります。

トガリナナフシの仲間はメスだけで卵を産むことができるため、アマミの数はすでに増えていると思われます。両種の成虫の違いはハッキリとしていないのでこれから見比べていきたいと思います。下のメスは画像の卵を産んだ個体なので、ハチジョウトガリナナフシと断定できています。



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島のタマムシを探せ！

タマムシといえば、ヤマトタマムシの美しい翅が使われた「玉虫厨子」を思い浮かべる人が多いと思います。日本産タマムシ大図鑑によれば日本産タマムシは219種類確認されているそうです。八丈島では以下の6種類の記録があり、ビジターセンターでは「アオムネスジタマムシ」以外の5種類（写真右）を確認・撮影しています（画像左上のスケールは実際の大きさです）

アヤムネスジタマムシ *Chrysodema lewisii*

大きさは20mm前後、体は緑色、光りの加減により赤紫色に見える所もあります。上翅の縁にある黄色い溝は浅く幅が広いです。スダジイやホルトノキにつきます。ムネスジタマムシ属 (*Chrysodema*) は前胸背板の中央に1本の縦隆線があるのが特徴です。



ルイスナカボソタマムシ *Coraebus rusticanus fujiyamai*

大きさは10mm前後、前胸は赤みの強い金色、上翅は青銅色で先端に白い波模様があります。八丈島のタイプは、背面の点刻が弱く、体が短太、メスの上翅は前胸と同じ赤みの強い金色になることから亜種とされています。オオバヤシャブシにつきます。



クズノチビタマムシ *Trachys auricollis*

大きさは3mm前後、頭部には金色の毛、上翅には黒と銀色の毛があります。肩部の張り出しが大きく、頭部がえぐれているので小さく見えます。とても小さなタマムシですがクズの葉の上にいるので目立ちます（食べた痕も目立ちます）。幼虫はクズの葉の中に潜んでいます。



ウバタマムシ *Chalcophora japonica japonica*

大きさは40mm前後、島の中で見られるタマムシの中では一番大きくなります。体は金銅色で上翅の黒い縦隆線が目立ちます。八丈島ではクロマツの枯木につきますが、あまり見かけることはありません。

ヒシモンナガタマムシ *Agrilus discalis*

大きさは10mm前後、上翅の茶色い菱形が特徴で、見間違えることはなさそうです。枯れたエノキにつくようですが、八丈島ではそれほど数が多くありません。



アオムネスジタマムシ *Chrysodema manillarum*

モモタマナの木につきますが、この木は八丈島にはありません。アヤムネスジタマムシに似ているのでの誤同定の可能性があります。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は6月11日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成29年第6回) 調査者: 沖山美、大場、矢野、金田、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			35	ニワゼキショウ	花と実	17	ヒメユズリハ	若い実
1	アオツツラフジ	蕾	36	ヌカススキ	実	18	ホウライカズラ	蕾と実の虫こぶ
2	アオノクマタケラン	花	37	ネジバナ	花	19	ホルトノキ	蕾
3	アメリカスズメノヒエ	花	38	ハイメドハギ	花	20	マサキ	若い実
4	ウスベニニガナ	花と実	39	ハナヌカススキ	実	21	モッコク	蕾
5	ウラジロチチコグサ	花	40	ハハコグサ	花	22	ヤナギイチゴ	熟した実
6	オオアレチノギク	花と実	41	ハルジオン	花咲き残り	23	ヤブニッケイ	花
7	オオニワゼキショウ	花と実	42	ヒナギキョウ	花と実	24	ヤマモモ	熟した実
8	オオバコ	実	43	ヒメクグ	実	シダ植物		
9	オニタビラコ	花と実	44	ヒメヨツバムグラ	花と実			
10	オニドコロ	蕾	45	フウトウカズラ	花	1	アラゲヒメワラビ	
11	カタバミ	花と実	46	ヘラバヒメジョオン	花	2	ウチワゴケ	
12	カニツリグサ	実	47	マツバウンラン	実	3	オオイタチシダ	
13	キランソウ	花	48	ママコノシリヌグイ	花	4	オオタニワタリ	
14	ケキツネノボタン	花と実	49	ムラサキカタバミ	花	5	オニヤブソテツ	
15	コケミズ	花と実	50	メヒシバ	花	6	カニクサ	
16	コケリンドウ	花	51	ヤマヌカボ	実	7	コハシゴシダ	
17	コナズビ	花と実	木本			8	タチクラマゴケ	胞子葉
18	コマツヨイグサ	花と実				9	タチシノブ	胞子葉
19	コモチマンネングサ	花	1	アオキ	若い実	10	タマシダ	
20	シマササバラ	花	2	アカメガシワ	花と実	11	ナチシケシダ	
21	シロツメクサ	花	3	イタビカズラ	実	12	ナンカイイタシシダ	
22	シロバナマンテマ	花と実	4	イヌビワ	実	13	ノキシノブ	
23	セイヨウタンポポ	花	5	オオシマザクラ	実が残る	14	ハカタシダ	
24	タチスズメノヒエ	花と実	6	オオムラサキシキブ	蕾	15	ハチジョウカナワラビ	
25	チガヤ	実	7	ガクアジサイ	花	16	ハチジョウシダ	
26	チチコグサ	実	8	カジイチゴ	実	17	ヒトツバ	胞子葉が目立つ
27	チチコグサモドキ	実	9	シマモクセイ	熟した実	18	ホシダ	
28	ツメクサ	花と実	10	タイミンタチバナ	蕾	19	マツバラ	
29	ツユクサ	花	11	タブノキ	実	20	マメヅタ	胞子葉が目立つ
30	テリハノブドウ	蕾	12	テイカカズラ	花	今回はシダ植物 20 種を含む 95 種の植物を観察しました。今年は樹木の実が豊作のようで、シマモクセイもたわわに実っています。		
31	トウバナ	実	13	トベラ	実			
32	ドクダミ	花	14	ハゼノキ	実			
33	ナギナタガヤ	花	15	ハチジョウイボタ	花			
34	ニラバラ	花	16	ハチジョウキブシ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ツマグロオオヨコバイ」にスポットを当ててみたいと思います。



ツマグロオオヨコバイ *Bothrogonia ferruginea*

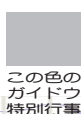
半翅目ヨコバイ科。本州、四国、九州、対馬に分布。

大きさは 13mm ほど、体は黄緑色で 5 つの青黒斑があり、前翅の末端も青黒色。脚は黄色と黒の縞模様になっています。

八丈島では 2017 年 4 月に初めて確認されています。

2017 八丈ビジターセンター 7 プログラムカレンダー

日付の下に書かれているグラフは、八丈島（神湊）の潮汐のデータです。
満潮・干潮の時刻を表示しています。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります				 1 ガイドウォーク 04:40 10:13 16:13 23:02
2 ガイドウォーク 05:58 11:56 17:13 23:53	3 07:11 13:41 19:29 00:50	4 08:08 14:57 20:47 01:44	5 09:54 15:50 21:52 02:31	6 10:33 16:32 22:42 03:12	小暑 7 11:09 17:08 23:23 03:50	8 ガイドウォーク 17:41 23:58 10:43 16:13
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 04:26 10:13 16:13 23:31	10 05:01 11:48 18:44 00:04	11 05:35 12:21 19:16 00:38	12 06:11 12:55 19:48 01:15	13 06:50 13:30 20:21 01:56	14 07:32 14:08 20:57 02:45	15 ガイドウォーク 14:49 21:36 10:12 16:13
16 ガイドウォーク 03:43 09:26 15:38 22:20	17 ガイドウォーク 04:54 10:53 16:38 23:13	18 06:11 12:44 17:56 00:15	19 07:24 14:24 19:26 01:20	20 光るキノコ観察会 08:27 15:38 20:46 02:20	21 光るキノコ観察会 09:22 16:34 21:48 03:15	22 ガイドウォーク ハ文学講座 「川の生きもの観察会」 03:15 10:12 17:20 23:38
23 大暑 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」 04:06 10:58 18:02 23:22	24 光るキノコ観察会 04:53 11:41 18:40 00:02	25 光るキノコ観察会 05:39 12:21 19:14 00:41	26 光るキノコ観察会 06:23 13:00 19:46 01:21	27 光るキノコ観察会 07:06 13:36 20:15 02:02	28 光るキノコ観察会 07:51 14:10 20:43 02:47	29 ガイドウォーク 夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」 08:39 14:44 21:13 02:47
30 ガイドウォーク 光るキノコ観察会 03:41 09:39 15:21 21:47	31 光るキノコ観察会 04:48 11:07 16:09 22:34					

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

7/9 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ハ文学講座 「川の生きもの観察会」

毎月行っているハ文学講座。今月は、ホタル水路や鴨川で淡水に棲む生きものを探して観察します。
7/22 (13:30～ 約1時間半) 中学生以上
和泉親水公園集合・解散 参加費：50円 定員：15名

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」

潮だまりでいろいろな生きものを採集して、みんなで観察しましょう！濡れてもいい格好で。
7/23 (10:30～ 約1時間半) 小学生と保護者（小学生未満は同伴不可）
現地（当日決定）集合・解散 参加費：50円 定員：15名

夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」

恒例の夜の昆虫観察会！植物公園内で夜に活動する昆虫を探して観察します。
7/29 (19:30～ 約1時間半) 小学生以上（小学生は保護者同伴・小学生未満同伴不可）
ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：20名

夏休み特別行事 「光るキノコ無料観察会」

7/20～8/31 (8月11日はお休み) 植物公園メインエントランス集合 無料
受付時間：19:20～20:00 受付の最終締切は20:00です。
NPO 法人八丈島観光レクリエーション研究会等のボランティアガイドがご案内いたします。

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は毎時20分～40分～から可

東京都八丈ビジターセンター 2017.7.1 第194号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

アマミトガリナナフシが八丈島にいたとは思ってなかったのでビックリでした。でも、昔から園芸植物が入り込んでいるので見つからなかったでしょう。メスは産んだ卵で分かりますが、オスは交尾器骨片を見ないとハッキリ分からないようです。（高）